

厳しいながら 県経済「改善」

県経済は、厳しいながらも持ち直している。景気に敏感かつ重要な指標の動きをまとめた県景気動向指数のうち、景気にほぼ一致して動く一致指数は前月を六カ月連続で上回り「改善」を示している。

県内総生産の四割を占める製造業の生産活動（数量）の動きを表す鉱工業生産指数も、前月を六カ月連続で上回った。半導体生産は世界的需要の高まりやデジタル化の加速などを背景に高水準。自動車も半導体不足の影響はあるが、国内外の新車需要で持ち直し基調にある。化学や汎用機械も上向いており、幅広い産業で稼働が持ち直して原材料や部品が投入されていることがうかがえる。

個人消費は、スーパーやドラッグストアなどの販売は巣ごもり需要で高水準だった昨年と比べ鈍化しているが、家電や新車販売は好調。観光や飲食は依然厳しいが、ワクチン接種などへの期待もある。雇用は有効求人倍率が一・一七倍と底堅く、企業の人手不足感も再び強まっている。残業時間数は前年を下回るがコロナ前の水準に戻りつつある。感染状況や海外経済に注視が必要だが、持ち直しの動きが確かなものになっていくことを期待したい。

（コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上 千賀子）

最近の県の主要な経済指標

鉱工業生産指数 ※1	4月	前月比 +4.2% ↑
百貨店・スーパー販売額 ※2	4月	前年比 +2.3% ↑
乗用車新車登録販売台数	5月	前年比 +59.7% ↑
有効求人倍率 ※1	5月	前月比 +0.06ポイント ↑
所定外労働時間指数	3月	前年比 0.0% →

※※
2 1
既 季
存 節
店 調
 整
 値

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む（百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました）」

2021年7月1日